

- ・「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」のとりまとめ(令和2年7月6日)を踏まえ、国・県・市町との協議会を設置し、議論を進め、令和2年度末までに、流域治水プロジェクトを策定する。
- ・流域治水プロジェクトの素案として、国管理河川の対策内容等を示し、今後、この素案をベースに議論を進める。

●流域治水プロジェクト(素案) (R2.7.6)



- ・全国一級水系の国管理河川の対策内容等を公表



●第1回流域治水協議会 (R2.8.24)

- ・協議会設立趣旨、規約の確認
- ・流域プロジェクトについて共有
- ・流域治水の取組事例の共有



●第2回流域治水協議会 (R2.9末予定)

- ・「河川対策」をとりまとめて公表



「〇〇川流域治水プロジェクト」を公表

- ◆全国の一級水系を対象に、早急に実施すべき具体的な治水対策の全体像を、都道府県や市町村と連携して検討し、国民にわかりやすく提示。

【イメージ】

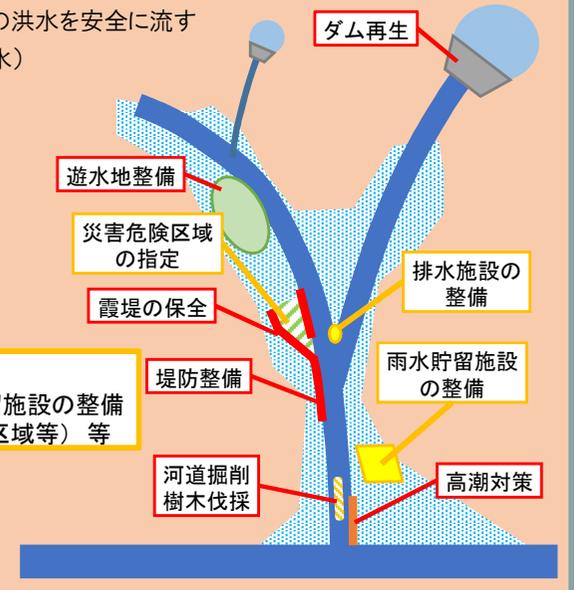
- ★戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- …浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

- 河川対策
 - ・堤防整備、河道掘削
 - ・ダム再生、遊水地整備 等

- 流域対策(集水域と氾濫域)
 - ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
 - ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等

- ソフト対策
 - ・水位計・監視カメラの設置
 - ・マイ・タイムラインの作成 等



●第3回流域治水協議会 (R3.3予定)

- ・「流域対策」、「ソフト対策」をとりまとめ追加して公表

揖保川水系流域治水プロジェクト（素案）

～西播磨の暮らしを守る「揖保川」の治水対策推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、揖保川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の被害をもたらした昭和51年洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、家屋浸水被害を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■河川における対策

国の対策内容 河道掘削、堤防整備、堰改築 等

※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

■流域における対策のイメージ

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等） 等

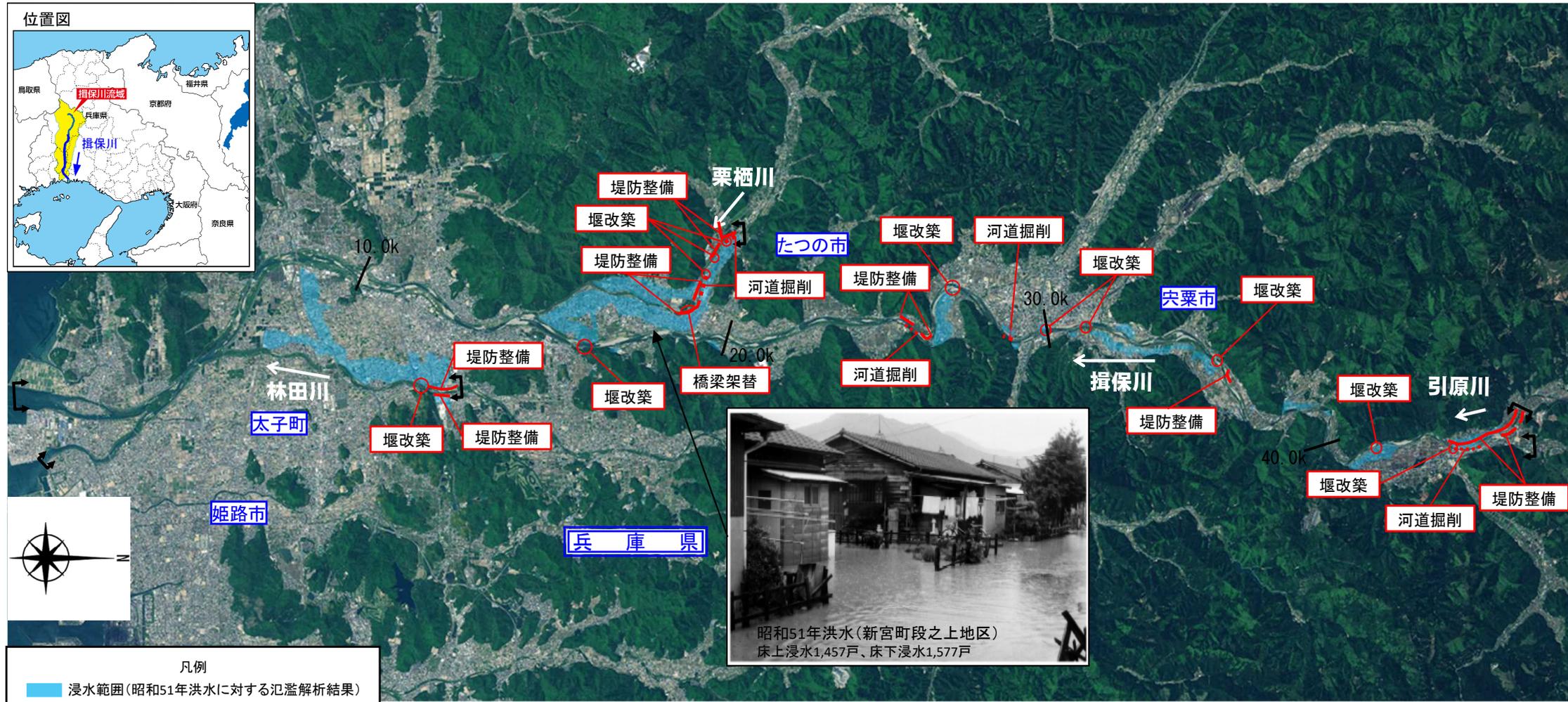
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

位置図



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。